

「平成 28 年 1～3 月期中小企業景気動向調査」調査結果報告

－ 業況、今回も横ばい －

静岡県西部地域しんきん経済研究所は、県西部地域の中小企業を対象に行なった「中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご報告します。詳細については別添「景況レポート」をご参照ください。

1. 調査概要（調査／静岡県西部地域しんきん経済研究所、協力／浜松商工会議所）

- 調査時期 平成 28 年 3 月 1 日～8 日
- 調査対象 静岡県西部地域の中小企業 546 社
- 回収状況 回収数 541 社（回収率 99.1%）
- 調査方法 調査表を用いた面接聴取（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

2. 調査結果

①平成 28 年 1～3 月期の業況

県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－12.2 であった。平成 27 年 12 月の前回調査（－11.4）と比べて－0.8 ㊦と横ばい圏内であった。消費税引き上げ後に調査した平成 26 年 6 月以降は小幅の動きが続く。

②平成 28 年 4～6 月期の見通し

次期の業況 DI は 5.5 ㊦悪化の－17.7 を見込む。

③主な業種別の動向

業種	調査数	業況DI			動向
		前期	→ 今 期 →	次期見通し	
二輪車部品製造	50	-22.0	-28.0	-24.0	業況DIは2四半期ぶりの悪化も消費税以後は概ね横ばい。
自動車部品製造	69	-25.0	-33.8	-27.9	業況DIは悪化、3年ぶりに－30を割り込む。明るいコメント前回より減少。
機械部品製造	52	-3.8	-7.7	-28.8	業況DIわずかに悪化。海外好調に関するコメントなくなる。
楽器部品製造	18	5.6	5.6	-16.7	業況DI横ばいのプラス水準維持。
繊維製造	24	-16.0	-20.0	-4.0	業況DIは悪化ながら、原材料価格下落や円高により収益DIは改善。
卸売業	65	-23.9	-18.8	-18.5	業況DIは2四半期ぶりの改善。円高の影響もあり仕入価格の上昇は和らいでいる様子。
小売業	54	-22.2	-11.1	-20.4	業況DIは2四半期ぶりの改善。卸売と同様に仕入価格の上昇が和らぐ。
建設業	64	6.3	1.6	-23.8	業況DIは3四半期ぶりの悪化もプラス水準を維持。3月が悪化するのとは平成23年以來。
不動産業	41	-2.4	22.0	14.6	業況DI大幅改善。7四半期ぶりにプラス水準へ。
飲食・宿泊・レジャー等	10	-20.0	-30.0	20.0	業況DIは2四半期ぶりの悪化。価格転嫁できないとのコメントの通り料金価格DIはマイナス水準へ。

本件のお問い合わせ先

特非) 静岡県西部地域しんきん経済研究所 / 神谷 / TEL053-452-1510
〒432-8036 / 浜松市中区東伊場 2 丁目 7-1 浜松商工会議所会館 5 階